

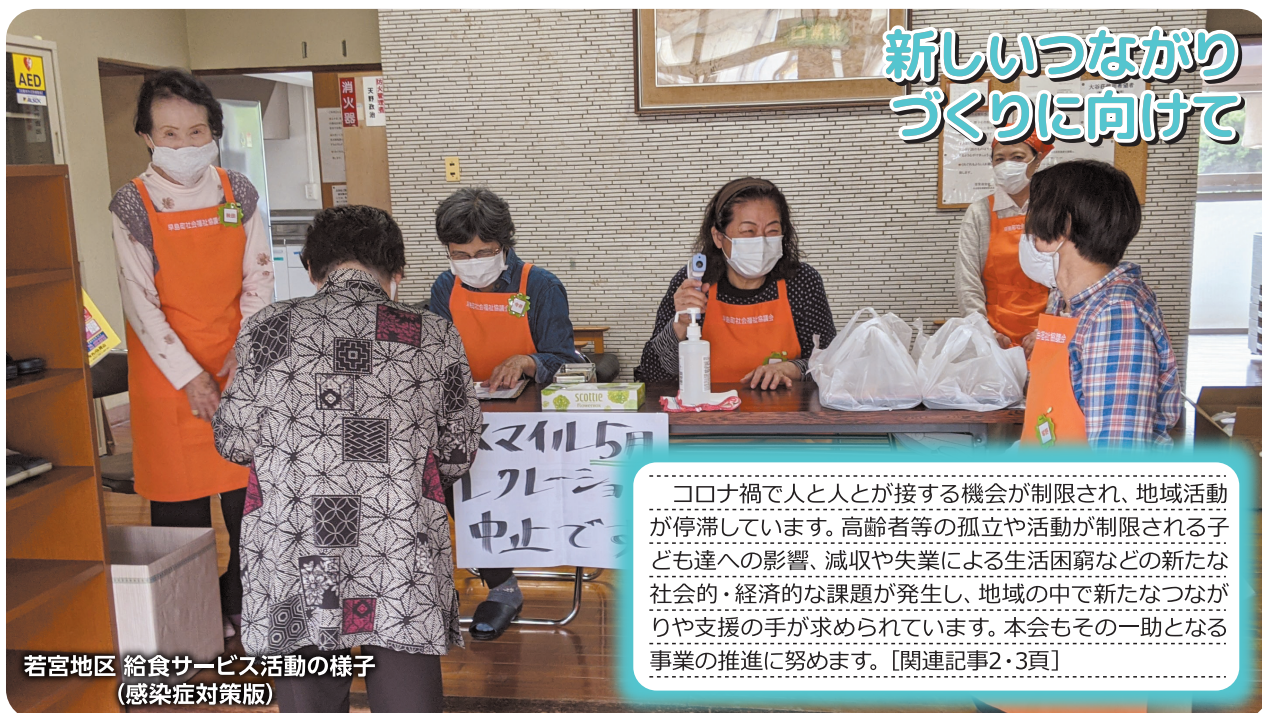
CONTENTS

- 23 福祉有償運送事業運転者講習会のご案内
シニア向けスマホ講座のご案内
令和3年度の予算・重点目標
特例貸付受付期間延長のお知らせ
夏のボランティア体験事業のご案内
- 45 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記
デイサービスセンター通信
- 6 わたし・我が家のぶち自慢・投稿記事
- 7 みんなで進めよう!「はやしまほっとプラン2」
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

社協だより

はやしま福祉情報

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります



新しいつながり づくりに向けて

コロナ禍で人と人が接する機会が制限され、地域活動が停滞しています。高齢者等の孤立や活動が制限される子ども達への影響、減収や失業による生活困窮などの新たな社会的・経済的な課題が発生し、地域の中で新たなつながりや支援の手が求められています。本会もその一助となる事業の推進に努めます。【関連記事2・3頁】

若宮地区 給食サービス活動の様子
(感染症対策版)



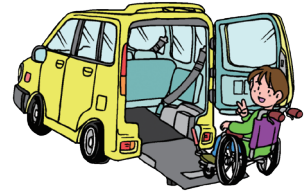
「ほっとプラン2」 策定完了!

第2次早島町地域福祉活動計画 答申式

2次計画策定委員会の岩満賢次委員長と加藤和子副委員長から本会会長への答申が行われ、評価期間を含め、2カ年にわたる改定作業が終了しました。
1次計画の基本理念『みんなで「創り」「広げ」「進める」
支え合いのまちづくり』を継承し、令和3年度からの6カ年計画がスタートしました。【関連記事7頁】

第2次早島町地域福祉活動計画答申式
(3月31日「オアシス早島」)

福祉有償運送事業運転者講習会のご案内



本会では、「特定非営利活動法人移動ネット岡山」と協働で、移動支援の担い手の基礎資格となる講習会を開催します。2日間長時間の講習となりますが、定員をしばり、感染症対策を取りながら実施します。ぜひご参加ください。

◆講習会初日

7月17日(土)

9:30~受付 10:00開講

- 移動サービス関連法や制度
- 移動サービスの利用者の理解
- 移動サービスの運転に必要な知識と心構え
- リスクへの備えと対応 等

16:30頃 閉講 ※昼休み12:00~13:00等随時休憩有

◆講習会2日目

7月18日(日)

9:30~受付 10:00開講

- 福祉車両の特性
- 福祉車両の操作
- セダン車両の利用者理解と接遇・介助方法
- セダン車両の乗降介助 等

16:30頃 修了式 ※昼休み12:00~13:00等随時休憩有

◆申込時の注意事項等

- 町内在住者で、受講後、早島町社会福祉協議会に登録し、外出支援活動にご協力いただける方は、**受講料が無料**（一般受講料:18,500円）となります。※道路交通法第79条登録（福祉有償運送）の運転者資格が取得できます。
- 参加申込は、**7月16日(金)17時まで**電話受付



シニア向けスマホ講座のご案内

本会では、「公立大学法人岡山県立大学」及び「パソボラはやしま」と協働で、スマートフォン普及によるデジタルデバイド（情報格差）の解消と、デジタルによる人と人とのつながりづくりを後押しするために、各種スマートフォン講座を開講します。3講座各3日間の講習となりますが、定員をしばり、感染症対策を取りながら実施します。ぜひご参加ください。



◆はじめてのスマホ講座(入門編)

〈対象者〉

「初めてスマートフォンを手にした方」

第1回 7月19日(月)

「スマホの種類や基本操作」

第2回 7月26日(月)

「文字入力(音声入力)」

第3回 8月2日(月)

「地図・インターネット検索等」

◆スマホ機能活用講座(初級編)

〈対象者〉

「アプリケーションをインストールした経験がない方」

第1回 9月6日(月)

「写真・動画アプリ」

第2回 9月13日(月)

「色々なアプリ(健康や防災等)」

第3回 9月27日(月)

「スマホのセキュリティ等」

◆楽しくLINE講座(特別編)

〈対象者〉

「LINEをインストールし使用できる状態にある方」

第1回 10月4日(月)

「LINEの基本操作」

第2回 10月11日(月)

「LINEグループ作成・機能」

第3回 10月18日(月)

「LINE機能の活用」

◆申込時の注意事項等

- ご自身のスマートフォンを持参ができる方に限ります。
- 町内在住者で、1講座500円の受講料をいただきます。なお、受講料は、各講座初日に集金します。
- 参加申込は、**7月9日(金)17時まで**電話受付。

◆講座時間(全講座全回)

- 10:00~12:00

◆その他

- 定員超過の場合は、抽選により受講者を決定します。その際は、申込者全員へ抽選結果を通知します。

◆各講座の感染症対策について

- 各講座定員を20名以内にしばり実施します。
- 受講者は、**マスク着用**のうえご参加ください。
- 受講2週間前からの毎日の検温記録の提出、手指消毒、換気状態での講義等の対策にご協力願います。
- 岡山県内の感染症の状況により、延期する場合があります。

◆各講座の会場

早島町地域福祉センター「オアシス早島」

◆お問合せ・お申込み

早島町社会福祉協議会
(事務局 ☎482-3000)

令和3年度の

予算・重点目標 についてお知らせします

社会福祉法人
早島町社会福祉協議会の

令和元年度から2か年かけて評価及び見直しを行った『はやしまほっとプラン2』について、概要版パンフレットを作成し、住民や民間団体への周知と協働の呼びかけを行います。また、地域や社会との多様な“つながり”づくりに向け、地域住民はもちろん、法人内外の福祉事業所や相談支援機関との協働の事業活動を進めます。

介護保険事業においては、経営上は厳しい環境が続きますが、広報活動の充実化により新規利用者の獲得とICT機器を活用した業務改善による経営の安定化を図ります。

法人運営事業拠点区分

収入の部	経常経費補助金収入	23,576千円	支出の部	人件費支出	24,400千円	<ul style="list-style-type: none"> ●法人運営（理事会・評議員会の開催など） ●社会福祉法人間連携の推進 ●地域福祉センターの管理運営（施設・備品の貸出） ●地域包括支援センターへの職員出向
	受託金収入	6,091千円		事業費支出	3,626千円	
	職員出向事業収入	5,876千円		事務費支出	8,526千円	
	受取利息配当金収入	5千円		負担金支出	168千円	
	その他の収入	2,863千円		その他の支出	1,691千円	

地域福祉事業拠点区分

収入の部	寄附金収入	430千円	支出の部	事業費支出	3,332千円	<ul style="list-style-type: none"> ●交流活動活動（サロン・給食）の支援 ●生活支援活動（ゴミ出し・買い物支援・大掃除等）の支援 ●社協だよりの発行、福祉映画会、作品展等の福祉啓発推進 ●福祉ボランティア・当事者団体活動の支援 ●福祉活動員による見守り活動等の推進 ●新たな“つながり”づくりの活動企画推進
	経常経費補助金収入	6,137千円		事務費支出	2,022千円	
	受取利息配当金収入	13千円		助成金支出	1,694千円	
	その他の収入	1,161千円		その他の支出	693千円	

介護保険事業拠点区分

収入の部	介護保険事業収入	137,001千円	支出の部	人件費支出	117,802千円	<ul style="list-style-type: none"> ●居宅介護支援事業（ケアプランの作成など） ●通所介護事業（デイサービス） ●訪問介護事業（ホームヘルパー） ●介護予防・日常生活支援総合事業 ●障がい福祉サービス事業
	障害者サービス等事業収入	3,887千円		事業費支出	16,716千円	
	その他の収入	12,445千円		事務費支出	9,438千円	
				その他の支出	9,377千円	

在宅福祉事業拠点区分

収入の部	会費収入	68千円	支出の部	人件費支出	486千円	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活自立支援事業 ●福祉有償運送事業 ●サロン等送迎活動の支援 ●外出支援活動の検討会開催
	受託金収入	426千円		事業費支出	318千円	
	事業収入	272千円		事務費支出	227千円	
	その他の収入	265千円				

事務局部門重点目標

- 第2次地域福祉活動計画の周知と推進
- 事務相談業務の在宅勤務環境の整備
- 横断的な業務推進体制の構築 他

介護事業部重点目標

- 専門性を活かした地域へのアウトリーチ活動の実践
- 広報活動強化等による収支状況の改善
- 福祉教育を中心とした地域貢献活動の推進 他

特例貸付受付期間延長のお知らせ

（緊急小口資金・総合支援資金）

新型コロナウイルス感染症の影響で収入減少し、生活にお困りの方を対象とした「特例貸付」の受付期間が、令和3年8月31日(火)まで延長されました。

貸付上限額

- ・緊急小口資金 総額20万円以内
- ・総合支援資金 総額45万円以内（単身世帯）
（最大3カ月） 総額60万円以内（複数世帯）

お問合せ・受付窓口

早島町社会福祉協議会
（事務局 ☎482-3000）



夏のボランティア
体験事業のご案内

今年度は、感染症対策を徹底した上で、屋外での清掃ボランティア活動等を実施いたします。参加を希望される方は、本会までご相談ください。

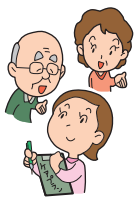
体験できる活動

- 屋外清掃ボランティア
- 福祉ボランティア活動
- 収集ボランティア活動 等

お問合せ・受付窓口

早島町社会福祉協議会
（事務局 ☎482-3000）





ケアマネジャーの

よりそい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方が住み慣れた地域で生活していくためのお手伝いをしています。

今年度は、介護に対する備えや向き合い方について情報発信していきます。

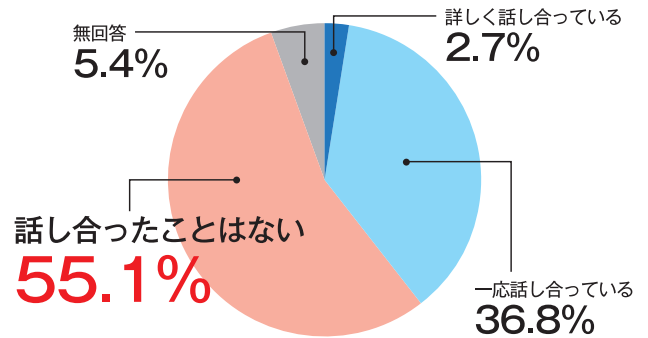
第36回 「介護は突然やってくる」

思わぬ怪我や病気により、突然介護が始まることもしばしばあります。また、離れて暮らす家族の変化に気づかないこともあります。

突然やってくる事態に備えて、「どこで過ごしたいか」「誰にみてもらいたいかな」等、家族や周りの方と話し合ってみてはいかがでしょうか。



話し合ったことがない人が半数以上!



出典:平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査(厚生労働省)

ケアマネジャーのひと言アドバイス

突然やってくる事態に備えて、家族や周りの方に伝えておきたいことを整理できる「エンディングノート」の一例をご紹介します。

自分のこと	趣味・伝えたい思い
お金のこと	資産・保険
個人情報・契約	パスワード・公共料金支払い方法
医療・介護	治療や延命の意思表示・介護の方針
お葬式・お墓	お葬式の規模
親戚や知人の連絡先	万が一の際に連絡してほしい人
ペットのこと	かかりつけ医・性格・嗜好



これから先の人生でやりたい事が整理できる等、日々の生活でも役立つので、若い世代の方にもお勧めです



■次号からは、実際の体験を踏まえ、介護に対する備えや向き合い方についてご紹介します。

●介護やサービスに関するご相談は、早島町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

ほのぼの日記

玉ねぎ取ったで〜!

狙うのは大きい玉ねぎ!「根がしっかりしとるなあ。これがええ!」「みそ汁にしたらええなあ。」と、話が弾みます。ボランティアさんの協力で今年も玉ねぎがたくさん出来ました。屋外での収穫は気持ちがいいものですね。

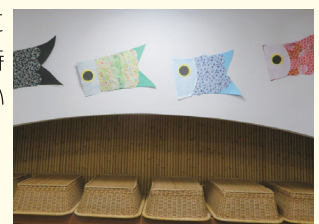


職員お手製の壁面飾りでお出迎え



デイルームにアジサイが咲きました!

お風呂場にも鯉が気持ち良く泳いでいます!



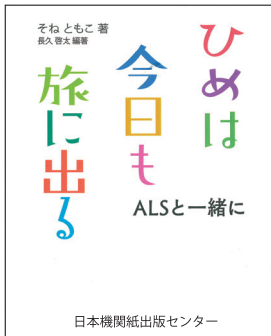


ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たちホームヘルパーステーションのご利用者とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2021-6-1 ～ひめは今日も旅に出る～

今回ご紹介する素敵な女性は、曾根朋子さんです。ご家族はご主人と、りんくん、りくくんの猫2匹です。趣味の旅行を楽しみながらもやりがいのある仕事に就かれていたさなか、突然難病に襲われました。長い間の葛藤のあと、ご自分の病気を受け入れ、ご家族や友人に支えられ、訪問の医療・看護・介護を利用されながらご自宅で生活されています。身体は奪われましたが、全てのことはご自分で決め、ご主人とともに今日も自分らしい一日を過ごしてい



らっしゃいます。

趣味の旅行は続けられていて、海外はドイツ国内は北海道から沖縄まで幅広く楽しんでいます。今は、コロナ禍で外出ができませんが落ち着いたら大好きな沖縄にまた行きたいとコロナの収束を待ちわびていらっしゃいます。

また、曾根さんは本も出版されています。ALSとともに生き、決してあきらめない曾根さんの想いの詰まった本です。是非皆さんも読んでみてください。

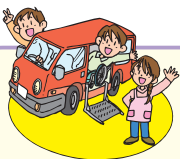
ヘルパー研修録

令和3年の年度始めとしてコンプライアンス（法令遵守）についての研修を行いました。

サービス利用者が不利益を被らないように、そしてサービス提供者の質を維持するために、ヘルパーそれぞれが昨年を振り返り、改めて気を引き締めることができました。



●登録ヘルパーについてのお問合せは、早島町ホームヘルパーステーション（☎086-482-3518）まで



デイサービスセンター 通信

マスクが外せる日を夢みて…

マスクを着けた生活が続き、お互いの話し声が聞きとりにくかったり、運動中に息がしにくかったり、デイサービスでも不自由な毎日です。そこで、今回は、「マスクが外せる日がきたら、まずは何がしたいですか？」と突撃インタビューをしてみました！皆さんいろいろな思いで過ごされているのがわかりました。



高井秀美様

外で人と会っても気を遣わずに散歩したいです。友達と色々な話もしたい。



藤谷重子様

耳が遠いからうまく聞こえない。顔を近づけて話したいです。



佐藤房子様

どじょうすくい、さくら音頭♪ワイワイ騒ぎながら踊れたらええなあ。



渡邊弘子様

友達とお茶やお菓子を持ち寄って楽しく話せたらええなあ。

親子で寄せ植え



2人でがんばって
植えました

たくさん話を聞いてね

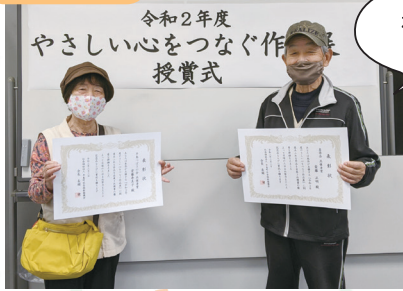


家族みんなの相談相手

投稿者
難波 真子さん(市場)

写真
左から
八杉 好美さん(花町)
八杉 初代さん(花町)

夫婦で受賞



夫婦で楽しく
作品作り

写真
左から
安藤 寿美子さん(前潟)
安藤 正明さん(前潟)

投稿者
小郷 由美子さん(中山)
写真
左から
中野 公翔くん(若宮)
小郷 大翔くん(中山)

2人は仲良し



10歳
Happy Birthday~♪

ぶち自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん...)との写真
- 大切な仲間との写真
- 自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー...)の写真
- 力作品(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜...)と一緒にの写真
- 手工芸や絵などの創作品と一緒にの写真など...

おじいちゃんの退職に
花束持参



〈お問合せ・お申込み先〉
早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

おたより



今から2年ほど前、仕事を退職してから、「待つてました!」とばかりに宮崎の自治会長の役が私に回ってきました。仕事を辞めるまでは、地域の事は全くしてません。自治会長となって、いろんな人の意見を聞いたり、様々な会合にとりあえず参加したりすることから、地域とかかわり始めました。

今私は、鶴崎神社の前で朝、中学生の交通安全の見守り活動をしています。今、コロナ禍の沈滞ムードの中、何か自分にできることはないものかと考えたとき、「交通安全のためにあの場所に立つことはできるんじゃないか」と思い、私のできる範囲で活動を続けています。

昨年より、コロナ禍での自粛続きで、高齢者が外に出ていくことが困難になっていることや、特に男性は、退職してからは地域に出ることが少なくなっていることを感じ、昨年秋季に地区の永田さんと「JJCUB(ジェイジェイクラブ)」という男子会を立ち上げました。「JJ」とは、孫が私達の年代に言う「じいじい」の略です。その内容は、洋楽を聞きながらお茶をする「オールディーズの会」、ボケ防止のための「健康麻雀の会」、年齢不問の「茶話会」等のサロン活動みたいなことを開催しています。緊急事態宣言の出されている期間は中止していますが、感染症対策とソーシャルディスタンスをとりながら毎月開催しています。

コロナの感染症がなかなか終息しません、このような活動により、地域の皆様が気軽に集まれる場として広まり、活気ある元気な地区になることを願っています。

宮崎地区「JJCUB」世話人

亀山 高生





住民アンケートや福祉団体や専門職のヒアリング等の各種調査結果を踏まえ、部会や策定委員会での課題整理や対策検討を経て、第2次早島町地域福祉活動計画『はやしまほっとプラン2』が策定されました。そこで今年度は、町民の皆様へ第2次計画の考え方や内容をお知らせさせていただきます。

2次計画策定の背景となる『4つの課題』

1 地域包括ケアが高齢者に限定されている

高齢者であれば福祉制度につながる前の状態でも地域包括支援センターが総合的な窓口として対応していますが、「65歳未満の方の様々な福祉課題についての対応は、どこに相談すればいいかわからない」との声があります。



2 世帯が抱える複合課題への対応

高齢化、核家族化、晩婚化などの影響により、介護と育児に同時に直面する世帯や、要介護の親と障がいのある子（8050問題）など、家族の支援力が弱い複雑・複合的な課題を抱える個人や世帯への対応が難しくなっています。



3 地域から孤立している人の増加

地域での繋がりや希薄化や単身世帯の増加などで、誰にも相談できない中、地域から孤立して、問題が見えず状況が深刻化するケースがあり、支援に結びついていない場合があります。



4 地域力の低下

自治会加入率の減少傾向や、老人クラブや子ども会などの解散など、地域の役員の担い手不足や組織運営が課題とされています。実際に、輪番制のゴミ当番が体の不調で受けられず、困っている高齢者の声があります。



2次計画策定のコンセプト『地域共生会の実現』

地域共生社会とは？

身近な地域で、住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて支え合う取り組みを支援する。これにより、すべての国民が、生活の楽しみや生きがいを見出し、様々な困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心してその人らしい生活を送ることができる社会を実現することとされています。



第2次計画の2つのコンセプト

こうした状況を踏まえ、本町における「地域共生社会」の実現に向け、第2次計画では、以下の2つの方向性を掲げています。



「わが事」の地域づくり

- 住民主体で生活課題を把握して解決を試みる地域づくり

「丸ごと」の相談対応

- 複合化・複雑化した課題の総合的な住民と専門職の相談支援体制づくり

2次計画本編は、本会ホームページに掲載していますのでご覧ください。次号より、その内容を紹介していきます。

早島町社会福祉協議会

検索

<http://www.hayashima-shakyo.jp>

ご厚志ありがとうございました

(令和3年3月1日から5月31日までにお寄せいただいたご寄附)

香典返し寄附

市場 高橋 章雄様 (故 高橋 正江様)

物品寄附

倉敷市 山崎 勝元様

※匿名希望で満中陰志寄附が1件ありました。

物品寄附

・車いす3台
・歩行車3台



ふくしま活動フォトギャラリー



子ども食堂

昨年度から「いかしの舎」が主催する同食堂。この日は、町内の小中学生を中心に大勢の参加があり、準備されていた150食のカレーライスがあっという間になくなりました。コロナ禍で開催が容易ではありませんが、「地域交流の拠点」として今後の活動の広がりが期待されます。(R3.3.31/いかしの舎)



生活支援活動(暮らしの応援団)

独居高齢者のお宅の家屋内整理の様子。この日は、室内のゴミを分別し合計21袋を地区のゴミステーションへ搬出。さらに2階から1階へ家具を移動するなど、同地区内の応援団員さんのお力で、早朝のボランティア活動を爽やかに終えました。(R3.4.28/町内)



絵手紙訪問活動(絵手紙ボランティアやまびこ)

7名の同会員さんのほか、昨年度コロナ禍に募集した7名の在宅ボランティアさんにご協力をいただき、この日までに約140枚の絵手紙を準備。絵手紙は福祉活動員さんを経由して、13地区で見守りが必要な独居高齢者のお宅へ年3回届けられています。(R3.5.5/オアシス早島)



民生委員・福祉活動員両協議会合同役員会

コロナ禍で高齢者等の地域における見守り活動や地区内の両委員による連携が停滞しています。そこで、今年度から両全委員合同の「見守り推進会議」を年3回計画。両委員の連携場づくりと状況に応じた円滑な見守り活動ができるよう、この日はその打合せを行いました。(R3.5.7/ゆるびの舎)



フードバンク事業(ほっとけんネット早島)

町内の社会福祉法人連絡協議会「ほっとけんネット早島」で開始した同事業。従来の町役場を通じた町民の皆さまからの食品募集に加え、各社会福祉法人内での食品募集を開始しました。この日は、特別養護老人ホーム白亜館の従業員さんから45種の食品をいただきました。(R3.5.10/オアシス早島)



買い物サロン活動(暮らしの応援団)

コロナ禍で様々な活動が規制される中、「暮らしの応援団」と「移動スーパーとくし丸」が協働する同サロン活動は、手指消毒等の感染症対策を行いながら活動を継続しています。買い物支援とコロナ禍のつながりづくりに、身近な拠点をぜひご活用ください。(R3.6.8/三軒地地区内)